

# 様々な視点から共同参画を見つめ



## 意見を出し合い地域づくりを考える



第643号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (9月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,427人  
 女 3,532人  
 総人口 6,959人  
 世帯数 2,094戸

# 男女が助け合えば 地域が元気に

## — 男女共同参画地域づくり講座で学ぶ

八月二十七日に村の交流学習センターにおいて、県の人権・男女共同参画課の主催で男女共同参画地域づくり講座が開催されました。地域や団体、組織の役員など六十名近い方々が参加され、フリージャーナリストの内山二郎さんを講師に活発な話し合いが展開されました。また、議論をより具体的かつ広角的にするためにパネルディスカッションの形がとられ、河野区長の市瀬憲さん、総合型地域スポーツクラブ代表の酒井浩文さん、日赤奉仕団委員長の壬生美佐子さん、男女共同参画推進委員の中原美穂子さんの四名がパネリストを務められました。

### 具体的な進展を予感

長野県県民文化部  
 人権・男女共同参画課  
 男女共同参画係  
 古幡拓之

長野県では、県民の皆さまに男女共同参画の視点を活かした活力ある地域づくりをしていただくために、県内市町村において「男女共同参画地域づくり講座」を開催しており、今年度は、五市町村で開催を予定しております。八月二十七日には、豊丘村交流学習センターにおいて、夜七時からの開催にもかかわらず、会場に

# 有事を常に意識して

## 8月31日、村内各地で防災訓練実施

### 炊き出しの基本を学ぶ

北市場二自治会長  
 本多和彦

北市場二自治会では、今年度自治会では初めて炊き出し訓練を、新しく完成した「ゆめあるて」にて行なうことができました。以前、緊急時に炊き出しを自治会で実際に行なった事があるのですが、



炊き出し訓練後の試食で成果を確認しました

炊き出し未経験の人がほとんどで、ご飯がうまく炊けなかった為、今回の訓練を行なう事にしました。当日は自治会の女性が、日赤奉仕団の方の指導を仰ぎながら炊き出しの基本を学びました。参加者のほとんどは、未経験の方でしたが、準備を綿密にしておいた為、スムーズに炊き出しを行なう事ができました。男性は、消火栓使用訓練、バケツリレー訓練、消火器

り、本音のご意見も多く出していた事で、お互いの考えやこれからの課題を知るよききっかけにもなったと思います。「地域がこれからは元気でいるために考えなければいけないことは何だと思いませんか」というテーマについては、参加者の方から、「村に住む私たちが意識を変え前進していきたい」、「お互いに認め合うことが大切」といったご意見が多く出されました。それぞれの考えが個々に留まるのではなく、地域の具体的な動きとなり一層進展していくことを予感させる力強さが、非常に印象的でした。また、下平喜隆村長が、参加者のお一人として、講座の最初から最後まで村民の方々と議論に加わっていた事で、男女共同参画に対するお考えや行政の立場からの施策について熱心に述べていたことも大変印象に残っております。今回の講座に、多くの皆さまにお集まりいただき、ありがとうございました。豊丘村の皆さまにおかれましては、地域における男女共同参画社会の実現に向けた取組を、一層深めていただきますようお願い申し上げます。

### 段丘

米軍新型輸送機オスプレイ。おそらくは、日本で一番有名な航空機だろう。航空や軍事に興味がなくとも、多くの人がその名を耳にし、プロペラ機のような、ヘリコプターのような奇妙な姿をメディアで目にしていくかと思う。

先日開催された米軍横田基地公開で、そのオスプレイを実際に見ることができた。機体そのものは決して大きくはないが、エンジンを上向きにしてプロペラが異様に高い位置に見える姿はやはり目立っていた。メディアでの印象そのままに、プロペラ機とヘリコプター両方の特徴を持つことが、外見からも見て取れた。機内公開には長い列ができ、見学者の会話は「あのオスプレイ...」といった雰囲気を感じられた。オスプレイが沖縄に配備されて二年。今夏からは東日本でも飛行するようになった。当地域への飛来はとりあえずなさそうだが、長野県北部には訓練ルートが設定され、県境に近い新潟県上越にある自衛隊演習場は訓練候補地になっている。また、本州での訓練飛行が公表されたところ、今まで見たことがない米海兵隊の輸送機が低空飛行するのを見かけた。オスプレイへの空中給油も担う機体だけに「もしや...」と思うのは考えすぎだろうか。(吉川土郎)

# 敬老の日集

# みんなの願い「健康長寿」 私はいつまで生きようかと

健康で長生きしたいのが私達の願いです。

そこで敬老の日に因んで健康で元気なお年寄り四名の方をお訪ねして、その生活の様子をお聞きました。

## 池田かやさん

八十六歳 中部三在住



豊丘村有線テレビに様々な飾り物をお贈り下さっている。四人姉妹の長女として生まれ、弟や妹の子守りや家事手伝い等をする事が多かった。

昭和十三年に家計を助けるために学校担任の勧めもあり大阪の鐘紡に就職する。会社では働き具合に応じて、擧げの色で区別していたが、

持ち前の負けず嫌いで懸命に働きそれを上長に認められた結果、同僚の人達より早く指導者の地位につけた。十年間勤務後様々な生活を経て二十八歳で阿島のガラス店の池田さんと結婚する。ご主人の勤務の関係で横浜及び京都に暮らし仕事の手伝いを行った。ガラスは重いのに加え取り扱いが難しく、仕事場は冷たいという条件が重なり足を痛めてしまった。更にご主人が三十九歳の若さでガンを宣告され、介護の負担も加わり自身の足の故障で大変な苦勞をされた。

しかし池田さんの本領はこの苦難に直面してからだ。この苦難の傍ら趣味を持ち木目込み人形、折り紙細工の勉強を行い自身に磨きかけた。元来の会話好きもあり木目込み人形の指導者として生徒さんを多く持ち、更に趣味の会として河野、

神稲、堀越に出かけ先々々皆さんと接し多くの作品を作り、豊丘祭りには七年以上に亘り出品した。

更に河野のミニデーでは「ボケナイ会」を結成され別の仲間と踊り、歌、お喋り等を行った。更に三年ほど前からは「はつらつ」にも参加され活動の輪を広げられている。又年中着こなされている和服姿が姿勢を正し若々しさを維持されておられると感じた。

・今日が一番若い  
・物事にうまくよしない  
をモットーに元氣にお過ごしである。

## 福沢英子さん

九十二歳 北市場一在住

松川町中山で養蚕を主とした農家の長女として生まれ育つ。当時は貴重な労働力として働いた。急斜面の畑に植えられた桑を取り、背中を運ぶのが子供の仕事



山登山マラソンの時には夫婦でそれぞれ五km、三kmコースに出場し夫婦参加賞として金銀の盃を頂いた。他に印象に残っている大会として、長崎県の日原マラソンがある。

七十歳頃まではこのような生活が続いたが、その後ご主人の介護が必要となり入院中は毎日歩いて病院へ行き洗濯などして介護をしたが今から七年前に亡くなり一人暮らしとなる。

その後は社協ボランティアをしたり野菜作りをしつつ家事を行っていたが、ともやが斜面とは切り離せない生活であった。しばらくして過労で栄養失調になり入院も経験した。退院後しばらくは家事を中心に過ごしていたが、ご主人の走る姿を見るために全国各地のマラソン大会に付き添って行ったりしている内に走ることに楽しさを知った。

夜明けと共に田村新道から河野方面に一時間近く走るようになりそれが毎日の日課になった。六十歳頃からはご主人と一緒に各地のマラソン大会に参加するようになった。島根県の三瓶

## 壬生民男さん

九十三歳 壬生沢南在住

壬生沢生まれで壬生沢育ち。小学校四年までは分校までの片道約二kmの道を、高学年では本校（現在の南小）まで約五kmの道を通つ

たことで自然に足腰が鍛えられた。

自宅周辺の豊かな自然を十分に活用し木登りを始め、夏は壬生沢川をせき止め水遊び、冬は田んぼスケート、雪が降れば周辺の斜面でソリ滑り等、小柄な体格ながらもガキ大将として屋外で元氣に遊んだ。一方、家では八人兄弟の長男として弟妹の子守り、家事手伝い等を行った。

卒業後暫くは岐阜の織物工場に働いた後、昭和十六年に出征、支那の揚子江辺りから南部ベトナム方面まで歩兵として転戦した。終戦により二十一年に復員し生家に戻り農業を営む。当時は養蚕中心であったが蚕が性に合わず、りんごに切り替える。この間生活のために輸入石油で働き危険物取扱免許を取り、約十五年間夜勤を主として勤める。三六災害では被害復旧工

事に出て働く。以後主要農産物としてりんご、梅、柿と変わるが家族で営んできた。自宅は一般道から引込込んでおり新聞・郵便配達が必要なため片道約二kmを毎日受け取りに行く事、洞の草刈り、野菜の手入れ等が日課となっている。

長年に亘って生活の糧であり今年返上した運転免許証は健康維持に役立ったし、更に頭の老化防止として取り組んでいることに物事の



暗記がある。国内の三千m以上の山十四個、更に驚きはJR飯田線の駅名九十四個を暗記しられることだ。しかもこれは八十歳を超えてから精力的に取り組んだこと。

長男夫婦と一緒に暮らせていることが何にも増して幸せであるとしみじみ語られた。

飯島町の中心地で生まれた。十五歳で満州に渡り病院に勤めながら看護の勉強をし免許を取る。

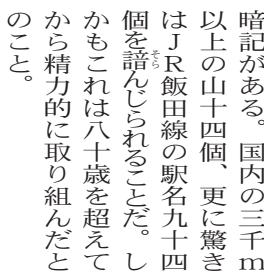
奉天（瀋陽）の病院で勤務中に八歳年上の鉄道警察官と結婚する。まもなくご主人は中国に送られ離ればなれになる。ソ連の参戦、敗戦と続いたがご主人も戻り一緒に逃避する。途中友人知人等が腸チフスなどで亡くなったが夫婦は無事に日本に帰れた。

堀越のご主人の美家に入り十三人家族の暮らしを始めたが、町中で育った繁子さんには驚きの連続であった。義兄と主人は炭焼きを主業としたが、やがて分家をし借金をしつつ農地を買い増して寝る間を惜しんで働いた。

若い頃の医療技術を認められて小澤医院さんに頼まれて堀越の端から端まで廻り歩いて注射を行っていた。十

年ほどはこうした生活をした。毎日歩いた距離はどれほどだったか。お陰で堀越は隅々まで知っている。

その後保健協力委員として佐久総合病院から出張で来られた先生の下で働いた。



この時一緒に働いた同僚とは今でも交流がある。

戦争の時代であったため青春は無かったが現在は堀越の老人会に参加したり、趣味として踊りの若葉会のグループでいろいろな行事に参加したり、華道や折り紙を嗜んだり、隔年に行われる運動会を楽しみにしている。又ご自身は病気が多い病氣もせず健康である。十三年前にご主人を亡くし現在は三人家族であるが、

それぞれ生き方は違いますが集約としては、①幼少の頃の環境が現在の元気の礎である②何事にも前向きである③働くことを厭わない④多くの人と接し良く話し笑う⑤目標を持って努力する⑥頭を使う 等でした。私達も大いに参考にしたいものです。

文責 日下部富次  
桐崎 長一

七月十九日に開始された夜間ソフトバレーボール大会混合の部が、九月六日に終了しました。長丁場の大会、大変お疲れ様でした。結果は次の通りです。

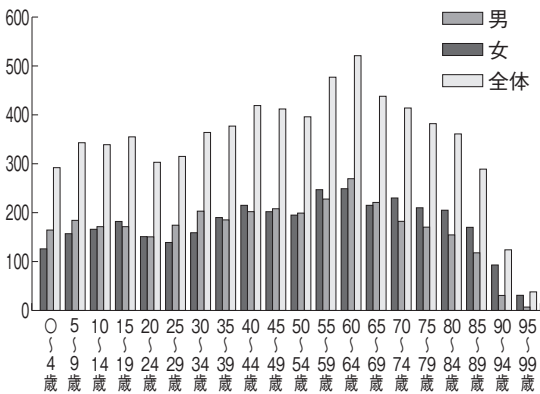
- 1位 ちーむクマ
- シロ
- 2位 バスト
- 3位 カッターズ
- 4位 ウエスト
- 5位 ヒップ
- 6位 T E N K E
- ア I ユートピ

激戦に次ぐ激戦でした



## 分館対抗球技大会、雨天で中止

八月十五日に予定されていた毎年恒例の分館対抗球技大会が、残念ながら雨天のため中止されました。来年は、ぜひ好天のもと、盛大に挙行したいものです。



# 40チームの参加で楽しんで盛大に

## 8月23日24日、24時間ソフトボール大会開催

八月二十三日と二十四日に南小学校グラウンドで、毎年恒例の二十四時間ソフトボール大会が開催されました。今年は四十チームが参加し、それぞれ「こぶし」と「あかまつ」の二チームに分かれ、途中で多少雨もありましたが午後三時から翌日の午後三時まで、和気藹々にゲームを楽しみました。結果は二五三対二〇二で、「こぶし」が勝ちました。



早朝の静けさの中で大熱戦

## 若者参加で盛り上がる

市ノ沢 唐澤太一

今年度から「河野匠」で主将をやっています唐澤です。今年度は新しいメンバーが増え、二十四時間ソフトボールに参加するにあたり一チームでは全員出場するには時間が少ないと思い、二チー

ム出すことにしました。実際に二チーム出場してみても、二つの時間帯で出られたことでより多くのメンバーに参加してもらえることが出て、無事に二試合こなせてよかったです。最も多得点チームにもなれて、とても充実した二十四時間ソフトでした。近年の夜間ソフトもそうですが、二十四時間ソフトも出場チーム・出場選手の確保がなかなか厳しい状況

## 子供たちはほほほほと参加

南小PTA会長 元島明彦

皆様こんにちは、本年度南小学校のPTA会長を務めさせていただいております。元島と申します。

昨年度に引き続きまして村の教育委員会主催で行われました、「通学合宿」について、一言感想を述べさせていただきます。

この企画は、南北小学校四年生全員を対象に、これから思春期前期(他人を意識する心の芽生え)を迎え

## 通学合宿

# 親の思い子の思い

準備段階の体験として、親元を離れた宿泊先(慈恵園)から学校へ通う、三泊四日の学習事業です。

本年度は、二年目ということでしたが、対象のお子様を持たれる保護者の皆様方にとっては、不安がぬぐいきれなかったため、再三にわたる事業説明会を行っていたながら、第一班の合宿がスタートしました。親の思いとは裏腹に、子

供たちは、活き活きと合宿に参加し、普段自宅では味わえない仲間との共同生活を満喫していました。その一方、その保護者という私も含めほぼ全員の方が、三泊四日の合宿とはいえ、我が子が自宅にいない寂しさを痛感されたことと思います。

この合宿は参加した本人はもとより保護者一人一人が、友達を思う心の大切さ、子が親を、親が子を感じる大切さを、あらためて考えさせられるとても良い機会だったと思います。次年度以降も是非、継続してもらいたい事業と私自身思っております。

最後に、村の教育委員会をはじめ、宿泊地として施設をご提供いただきました慈恵園の皆様方に感謝申し上げます。この合宿の感想とさせていただきます。

大変お世話様になりました。

また、同遺跡からは炭化したクリやクルミがたくさん出土しています。これらと併せて縄文人の「食」について考えてみるのも楽しいと思います。今に通じる発見があるかもしれません。

(資料館主任 唐澤武彦)



# 雨にも負けず地域に活気

## 8月15日に一、六分館で夏祭り

## 河野音頭で賑やかに

第一分館長(河野) 越野清司

二十二回目となる「河野夏まつり」を八月十五日、北小学校を会場に開催いたしました。

今回の夏祭りは「もっと河野らしく」を柱に実行委員会の中で内容の見直しを検討し、屋台での食品販売では地元生産者より提供された男爵いも・アンデスイも使用のジャガバタや、鱈の塩焼き等でアイテムを追加したり、例年、プロの歌手による歌謡ショーで盛り上げてきたステージを、地元で頑張っている子ども達によるダンス・豊丘太鼓・地元メンバーで活躍している音楽バンドにステージをお願いした中、新しいスタイルで会場を盛り上げることができました。

河野には古くから作曲・全員による河野音頭——一分館



室内会場は大賑わい——六分館

中山晋平によるオリジナルの「河野音頭」があり、この地域の宝の一つを後世に伝える目的も兼ね、祭りのクライマックスでは、大きな輪を作り、参加者全員による河野音頭を踊り、賑やかな夜となりました。

不安定な天候の中でしたが、想像以上の一般参加者を迎えることができ、準備していた食材等も完売し、グラウンドと体育館を併用するという慣れない条件の中でしたが、最後まで盛り上がりを見せた賑やかな夏祭りを終えることができました。

最後の楽しみは豪華賞品の当たる抽選会では、一家で多くの賞品を当てた方が上がついていました。最高の特等二本を同一家族で当てた時は本当にびっくりしました。

## 里帰りの親戚も加わって

第六分館長(佐原) 唐澤 伸

去る八月十五日、恒例の左原納涼祭を開催しました。当日は、朝から小雨がぱらつく怪しい天気でしたの

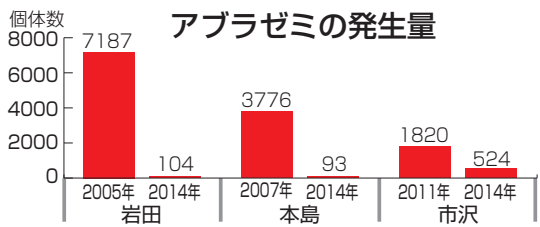
ここ数年天候には恵まれませんが、今年も大変楽しい納涼祭になりました。早くから準備、運営等協力していただいた皆さん、大変ありがとうございます。

～シリーズ～ **豊丘の自然**  
No.131  
ショウジョウトンボ  
(トンボ科)



今月はショウジョウトンボを紹介する。「猩々」で思い出したのはショウジョウバエとショウジョウバカマ。いずれも「赤色」が共通している。そもそも、猩々と

平地く丘陵地の開放的な池沼や湿地に生息し、平地く山地の樹林に囲まれた池沼に生息するネキトンボやリスアカネと棲分けている。話は変わるが今年のアブラゼミの少なさを三地点で、それぞれの最高値と比較で示す。



氏名	届出人	自治会
元島 将太	自治会	城
中平 恵美	高森町	城
矢澤 慎介	伊那市	木門
唐澤 知子	木門	木門
死亡者	届出人	自治会
安田 富男	裕郎	中芝
織田 原幸美	泰寛	下市場
木下 トシ子	雄二	寺島二
壬生 信幸	英文	壬生沢南
片桐 嘉郎	晃	山田
木下 幸子	茂利	山田
片桐 貴	ひふ	千駄木
池野 洋一	克洋	北市場三
寺澤 きみ	和男	下市場

**豪快にして優雅に**  
子供も大人も狼煙楽しむ



秋空に高々と

九月六日に林原運動公園で狼煙上げを実施しました。小学生を含め二十名の方々が参集し、秋空に豪快に、また優美に上がる狼煙を楽しみました。高森町をはじめ、周辺で上がる狼煙にも風情がありました。狼煙上げは、南信三郡の公民館が関係する「武田信玄狼煙会」が主催し、毎年根羽村の午前九時点火を起点として、順次五分刻みで北上点火するリレー方式で行なっております。豊丘村では午前九時十五分に点火され、点火の前後には木下

**二冊の本の紹介**  
図書館司書 松下佑子

早いもので、新図書館が開館して二ヶ月が過ぎました。日も短くなり、あっという間に秋を感じる時期になりましたね。食欲の秋、芸術の秋も良いですが、読書の秋もおススメです。今回は私が最近読んだ本を二冊紹介させていただきます。

一冊目は、『図書館の神様』瀬尾まいこ著です。主人公は二十二歳女子、名前は清（きよ）です。十八歳までは名前の通り清く正しく生きてきた清でしたが、あるで

**名作が待っています**  
— 村の図書館より

きことをきつかけに思い描いていた未来を諦め、高校の講師になります。そして文学には興味がないのに文学部の顧問することに。部員はただ一人、三年生の垣内君だけです。しかしこの出会いをきっかけに、傷ついた清の心は次第に癒されていくのです。

特別なことや大きな出来事はなくても、人との関わり合いの中で人は変われるんだなあと考える、心が温かくなる作品です。

もう一冊は、『ポケットに物語を入れて』角田光代著です。こちらは、人気作家角田光代さんによる、書評集です。古典的名作から最近のものまで広範囲にわたって紹介されています。自分が読んだことのある本はこういう読み方もあるんだなあと驚かされ、読んだことのない本は読んでみたいくなります。書評集と言いましたが、とても豊富な語彙で表現されているので、一冊の本としてもとても面白く、読み応えがあります。読書の秋を探しに是非図書館へお出かけください。

もう一冊は、『ポケットに物語を入れて』角田光代著です。こちらは、人気作家角田光代さんによる、書評集です。古典的名作から最近のものまで広範囲にわたって紹介されています。自分が読んだことのある本はこういう読み方もあるんだなあと驚かされ、読んだことのない本は読んでみたいくなります。書評集と言いましたが、とても豊富な語彙で表現されているので、一冊の本としてもとても面白く、読み応えがあります。読書の秋を探しに是非図書館へお出かけください。

十月にはゆめあるてのオープンングセレモニー、十一月にはとよおかまつりがあります。まだ図書館に来館されたことがない方も、その際に一度お立ち寄りください。

8月1日から  
8月31日まで(届出分) 出生

子氏名 届出人 自治会

筒井 岳翔	光祝	下市場
三島 昊也	大和	下佐原
福沢 龍一	弘文	中芝
池野 結奈	達也	北村
田中 奏空	カズオ	北市場三
亀山 海斗	一樹	八王子

**俳句 短歌**

七夕の星に近しと山便り  
のうぜん火炎集めて門構へ  
半夏雨海鳴りを背に能登の寺  
松虫草見上ぐる先は飯田富士  
蝸の鳴き始むれば赤子泣く  
月見草見ると浮ぶ母の容  
天竜の瀬音たかぶる雷雨かな  
蜜を吸う警戒もなき夏の蝶  
風受けて刃を研ぐ音か青芒  
笑み浮かべ退院の妻半夏生  
心奥の闇誰ぞ知る夏の果  
青柚子やラジオ体操行く子あて  
母遺影盆灯籠に包まるる  
何処かに戦のありけり秋の蝶

中山 寿子  
磯部セツ子  
田中 静  
竹村 茜  
片桐 洋子  
下平 玲子  
三島 保子  
三島 里子  
木下 眞水  
和地 睦夫  
宮下 公  
宮下 純子  
丸山 時子  
北原 昭子

木彫り面六十余りは仕舞はれて若き日われの仮面消えたり  
富永 博道

父の日に父と乾杯ビール手に成人となる孫にこやかに  
松島 八重  
夕ぐれの森の奥のその奥にふくろう鳴けり友を呼ぶよに  
織田大原  
眞夏日にペットボトルにお茶を詰め栄養の話聴きに出かける  
紅 梅  
昨夜の花火のあとかたもなき橋の上朝の空気を纏いつつゆく  
河原 梨花  
雨の午後幼児ふたり膝にのせ昔ばなしの続きを読みぬ  
吉沢 新子

（あしたば短歌会）  
足腰を患う妻は八十五 無理たのむわれ九十二歳  
原 誠  
すいすいと自由に飛べる燕思はず「いな」としばし目で追う  
毛涯百合子  
にわか雨サンタルの音響かせて五歳児走る干し物入れに  
北澤 秀子  
子を二人満州の地に亡くせしと逃避行語りし叔母今は亡き  
壬生 千春  
華やかし精霊流しの煙火果て騒めき残して盆は過ぎ行く  
大倉 知江  
パン生地膨らむを待つ中一と中二なる孫ともにくよくよか  
福澤 亀人

**柳** (豊丘川柳クラブ豊柳会)

〈お詫びと訂正〉 八月号の川柳で選者名が落ちていました。ここに訂正し、訂正版を掲載いたします。

八月号 訂正版

▼課題「七」久保ひろし 選

七夕に懐しい人思い出し  
この想い十七文字に託したい  
七難へあの手この手の日焼け止め  
七転び出来たが八起きしなん業  
軸吟：七人の敵の一人は親父殿

宇井恵美子  
宮下 小町  
林 桃子  
市沢 照子

▼課題「遠」互選

音響き隣家邪魔する遠火花  
九条を遠ざけ不安残す梶  
親友もやがて疎遠になる定め  
遠い日の苦楽を語る母の皺

安田 喜子  
原 美風  
桃沢 健介  
西元 峯子

▼自由吟 桃沢健介 選

特急が運休なのに乗る嫌疑  
議会より閣議がまさる横車  
政権党多数に酔って誤るな  
この指の太く短く貧に耐え

喜寿 喜多  
福沢 勝美  
吉川 燎  
久保ひろし

▼課題「石」吉川 燎 選

世の無情古城の石垣語りかけ  
躓いた石が教える老いの影  
焼け石に水を思わす汚染処理  
開墾地汗と涙の石の山  
軸吟：石文にその地の歴史刻まれる

林 桃子  
西元 峯子  
福沢 勝美  
久保ひろし

▼自由吟 桃沢健介 選

好きな酒医者に止められ仏頂面  
仏にも鬼にもなつて修羅を生き  
御仏に語るが如く咬いて  
仏壇の写真の笑顔に励まされ

吉川 燎  
桃沢 健介  
市沢 照子  
宇井恵美子

例の無い暑さと豪雨続く年  
戦争の実話身近に聞いた夏  
異変かな蝉の殻見ぬ声もない  
軸吟：長雨が観光農を泣かす夏

宮島 昭三  
原 美風  
安田 喜子